

可搬式荷物用昇降台

HLA-W型

取扱説明書



ピカ コーポレイション

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	2
表示マークについて・・・・・・・・	2
各部名称・ラベル貼付位置・・・・・・・・	3
安全のために、必ず守っていただきたいこと・・・	4
製品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・	6
ご使用前の点検（始業前点検）、（作業場の確認）・・・	7
可搬式荷物用昇降台の使いかた・・・・・・・・	8
1. 製品の設置と準備	
2. 荷物の設置手順	
3. リフトの昇降前に	
4. リフトの昇降	
運搬と保管のしかた・・・・・・・・	13
1. 移動のしかた	
2. クレーンで製品を積込むには	
3. 車輜へ積込むには	
4. 保管のしかた	
「故障かな？」と思ったら（不調診断）・・・・	15
始業前点検表・・・・・・・・	17
保守点検のご案内・・・・・・・・	18

はじめに

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にシタがって正しくお使いください。また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。

取扱説明書の内容と合わせて、作業現場内での規則を守り安全に作業してください。



- 可搬式荷物用昇降台は、正しく使われないと転倒や荷物落下の危険があります。お使いになるときは、製品の安定した状態を確認してください。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている△マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

△危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

△警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

△注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や荷物の落下による傷害事故の原因になります。



禁止

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。



強制

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

<絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、取扱説明書の中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。



感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると、感電して危険であることを注意しています。



可動部や開閉部で 手をはさまないように注意

可動部や開閉部などで手をはさむ恐れがあることを注意しています。

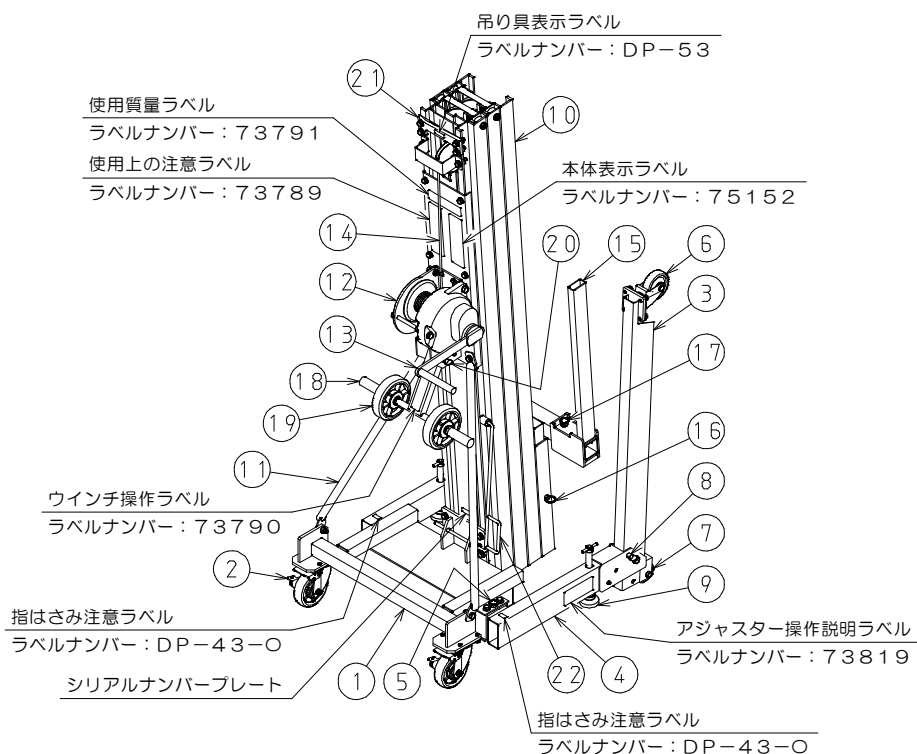
各部名称・ラベル貼付位置

番号	名称	備考	番号	名称	備考
1	台車		12	ウインチ	
2	ブレーキ付自在固定切替え車輪		13	ウインチハンドル	
3	台車アーム		14	ワイヤーロープ	
4	スライド脚		15	アジャスタブルフォーク	
5	スライド脚固定ピン		16	フォーク本体固定ピン	
6	自在車輪		17	フォーク幅固定ピン	
7	固定車輪		18	ハンドル	
8	ロックピン		19	積載用車輪	
9	アジャスター		20	位置決めピン	
10	支柱		21	吊り具	
11	補強ブレス		22	スライドロック	

<ラベルの手入れ>

ラベルは、表示内容が確認できるよう傷つけないでください。

ラベルが汚れている場合は、水などで汚れを落とした後、やわらかい布で拭いてください。



(イラストはHLA-49W型を示す)

1. ラベルを取寄せるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。
2. ラベルナンバーは、本書またはラベルに記載されているものをご確認ください。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

⚠警告



強制

この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。

積載する荷物の質量が、最大使用質量を超えるとときは使用しないでください。

また、安定性を損なう危険があるため、フォーク中心に荷物を載せてください。

⚠警告



禁止

可搬式荷物用昇降台としての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、荷物を昇降させるために作られた「可搬式荷物用昇降台」です。

使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと転倒や荷物の落下による重大な事故の恐れがあります。

⚠警告



禁止

可搬式荷物用昇降台を加工や改造しないでください。

本製品を分解・改造しないでください。

分解や改造は本来の機能をそこね、事故や故障の原因となります。

分解や改造が必要な場合は弊社にご相談ください。弊社にご相談なく分解、改造されたことに起因する事故や故障については責任を負いかねます。

⚠警告



強制

取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書やラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれています。注意事項をよく読み、理解してお使いください。

⚠注意



強制

安全のため、お使いになるときは保護帽（ヘルメット）を着用してください。

⚠注意



禁止

貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せて、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。

※ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバー（3 ページを参照）をご連絡ください。

⚠警告



禁止

人・動物を乗せないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

⚠注意



強制

リフト昇降時は、不意の移動を防止する為、車輪のブレーキをかけてください。

重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告



強制

可動部や開閉部などで手や身体をはさまないように注意してください。

使用時に可動部に手や身体・衣服が触れないようにしてください。可動部で手をはさまれる恐れがあります。



⚠警告



強制

フォーク上で荷物がずれないように、昇降前に荷物を固定してください。

転倒や荷物の落下など、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠危険



禁止

荷物は「支柱に近い位置」、「荷物の重心が支柱の中心線上」となるように載せてください。

転倒や荷物の落下など、重大な事故につながる恐れがあります。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

⚠危険



禁止

持ち上げた荷物の下に入らないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告



禁止

リフトを上昇させたままで移動させないでください。

転倒や荷物の落下の恐れがあります。

⚠注意



強制

移動するときは、アジャスターを上げてください。

製品が破損する恐れがあります。

⚠危険



禁止

複数のリフトを併置し、1つの荷物を昇降させないでください。

転倒や荷物の落下の恐れがあります。

⚠警告



強制

使用時は、周囲及び頭上の安全を確保してください。

重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告



強制

使用時は、作業員以外は製品に近づかないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

2. ご使用になる前に

⚠警告



強制

使う前には、必ず「ご使用前の点検（始業前点検）」を行い、異常の無いことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

ご使用前の点検（始業前点検）は、7ページを参照ください。

⚠警告



禁止

変形した可搬式荷物用昇降台を使わないでください。

この製品の支柱はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故につながる恐れがあります。

3. 設置する場所について

⚠危険



強制

設置するときや移動するときには、配電線・送電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線・送電線に触れると感電し、重大な事故につながる恐れがあります。

配電線・送電線からの推奨離隔距離は、6ページを参照ください。



⚠危険



禁止

やわらかい地面、傾斜している場所、安定しない場所や滑りやすい場所には設置しないでください。

不安定な場所で使用すると、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠危険



強制

必ず水平な地面上に設置してください。

重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告



禁止

悪天候時（雨、雪、強風時等）は、使用しないでください。

風にあおられたり、足元が滑ったりし、重大な事故につながる恐れがあります。

また、雨に濡れたまま使用するとワイヤーの腐食等の製品の破損が発生する恐れがあります。

⚠警告



禁止

足元や周囲・頭上のはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

暗い場所では照明を設けるなど、周囲を十分に明るくし作業に必要な照度を確保してください。

また、作業区域内には作業員以外が近づかないようにしてください。

配電線・送電線からの推奨離隔距離

電路	送電電圧 (V)	労働基準局長通達(※) 最小離隔距離(m)
配電線	100~200	1.0以上
	6600	1.2以上
送電線	20000~30000	2.0以上
	77000	2.4以上
	154000	4.0以上
	275000	6.4以上
	500000	10.8以上

※労働基準局長通達 昭和50年12月17日 基発第759号

製品仕様

型式	HLA-35W型	HLA-49W型
最大使用質量	300kg	
フォーク高さ(最大)	3490mm	4940mm
フォーク高さ(最小)	125mm	130mm
フォークの大きさ	554・664・739×698(mm) 幅方向3段階調節	
台車使用時展開寸法	最小785~最大1485×1900(mm) 幅は片側50mm×7段階調節	
収納寸法	高さ1990×幅790×奥行1040(mm)	
昇降方法	手動ウインチ	
ワイヤーロープ	φ6mm ステンレス製	
キャスター	ブレーキ付自在固定切替え車輪(2輪)	φ130mm ウレタン車輪
	自在車輪(2輪)	φ100mm ウレタン車輪
製品質量	170kg	190kg

※仕様は予告なく変更する場合があります

ご使用前の点検（始業前点検）

使用前には、必ず各部の点検を行ってください。異常があった場合には絶対に使用せずに、弊社にご相談ください。

1. 外観点検

- 台車、台車アーム、ロックピン、スライド脚、支柱、フォーク等の各部に曲がり・ねじれ・へこみ等の変形や亀裂の有無を確認してください。
- ブレーキ付自在固定切替え車輪のブレーキが確実にロックできるか確認してください。
- 各部のボルトが緩んでいないことを確認してください。
- 各ラベルが読み取れることを確認してください。

※本製品の可動部分は、操作時に傷等が発生することがありますが、品質に問題はありません。

2. ワイヤロープの点検

- 素線の切断がないか目視で確認してください。
- キンクしていないか目視で確認してください。
- その他、いちじるしい変形、形崩れ、腐食がないか確認してください。

※上記項目の中で問題がある場合、ワイヤロープの交換が必要です。
購入店、もしくは弊社にご相談ください。

3. ウインチの点検

- ウインチハンドルを巻き上げ方向（右回り）に回転させ、カチカチという音がすることを確認してください。（巻き下げ方向（左回し）に回転させると音が出ないのは正常です。）

※巻き上げ方向（右回り）に回転させて音がしない場合、メカニカルブレーキが損耗している可能性があります。

絶対に使用せず、購入店もしくは弊社までご相談ください。

- ウインチにトラブルが発生した時の原因と対処については、本体添付のマックスブル手動ウインチ取扱説明書をご参照ください。

4. 昇降動作の点検

- 昇降動作時、不安定な動作や各部からいちじるしい異音がないことを確認してください。

ご使用前の点検（作業場の確認）

- やわらかい地面、傾斜している場所、安定しない場所や滑りやすい場所でないことを確認してください。
- 足元や周囲・頭上のはっきり見えない暗がりとなるような場所、風にあおられるような場所でないことを確認してください。

可搬式荷物用昇降台の使いかた

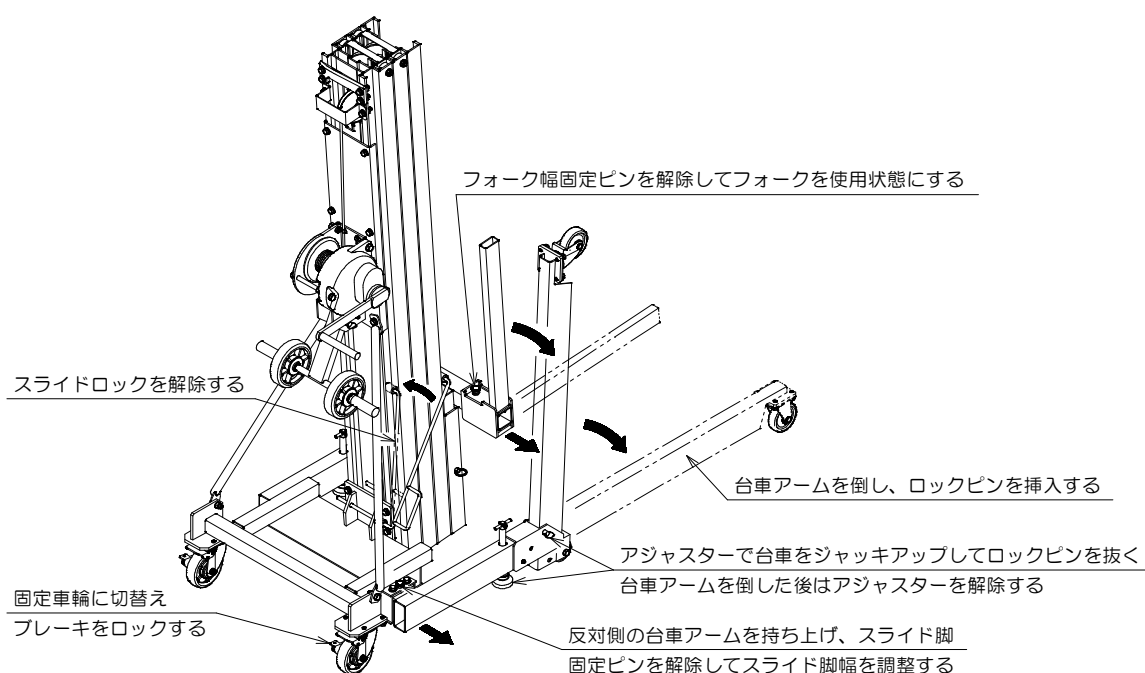
1. 製品の設置と準備

- ① 必ず製品を安定した水平な床面に設置してください。
 - ② 台車のブレーキ付自在固定切替え車輪（2箇所）を固定車輪に切替え、ブレーキをロックしてください。
 - ③ スライドロックを解除してください。
 - ④ アジャスターを地面に接地し、台車を少しジャッキアップ（アジャスターのハンドル右回し）してから、ロックピンを抜いてください。
 - ⑤ 台車アームを倒してロックピンを挿入し、台車アームを固定してください。
 - ⑥ ロックピンが確実に挿入されていることを確認後、アジャスターを解除（アジャスターのハンドル左回し）してください。
 - ⑦ 片側の台車アーム先端を持ち上げ、反対側のスライド脚の固定ピンを解除し、スライド脚の長さを調整します。調整後はピンで固定されていることを確認してください。
 - ⑧ フォーク幅固定ピンを解除し、フォークを取り外して使用状態にして取付けてください。取付けした後はピンで固定されていることを確認してください。
- ※アジャスタブルフォークは上向き・下向きどちらでも取付けできます。
- ※作業終了後は、逆の手順で製品を収納してください。

⚠危険

スライド脚、フォークの幅は左右同一の長さに調整してください。

片側のみを幅広に調整すると昇降台が不安定になり、荷物の落下、転倒等の重大な事故につながる恐れがあります。



可搬式荷物用昇降台の使いかた

2. 荷物の設置手順

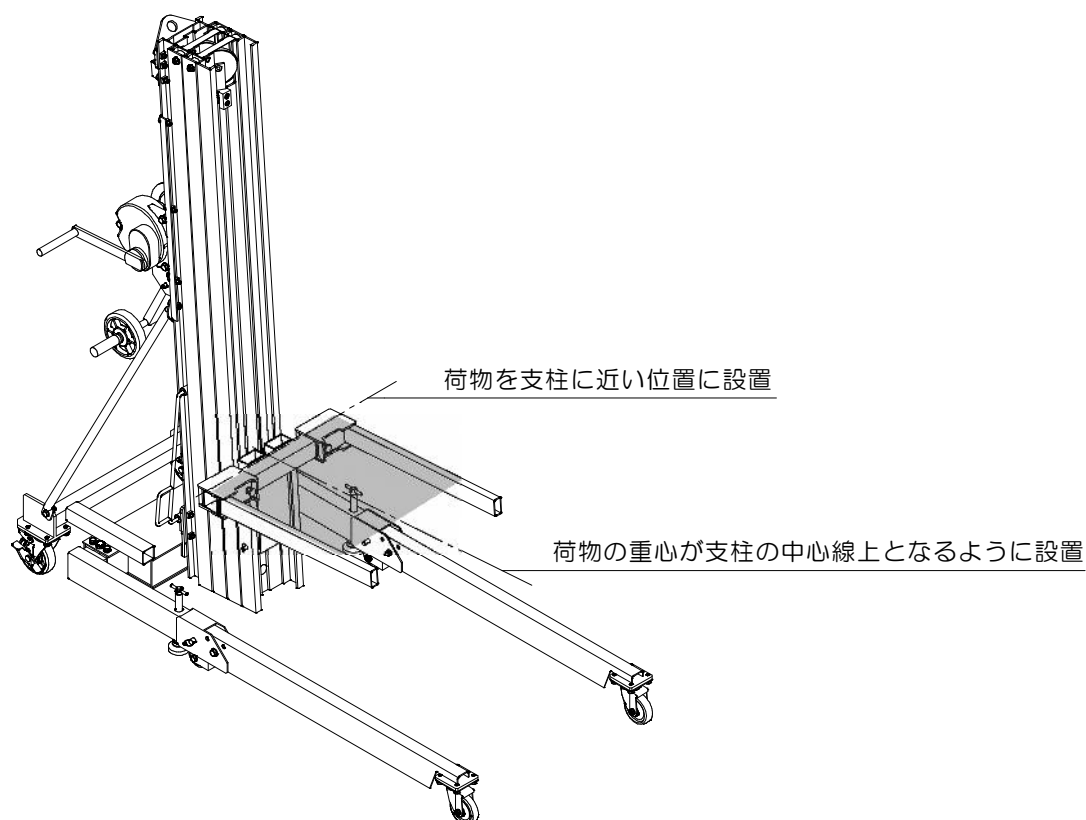
- ①荷物の重量が最大使用質量以下であることを確認してください。
- ②フォーク上に荷物を載せたとき、不安定でない状態を確認してください。
- ③荷物の設置は、フォークの内側かつできるだけ支柱に近い位置としてください。
※支柱には当たらない様に注意してください。
- ④荷物の重心が、できるだけ支柱の中心線上に設置されているかを確認してください。
- ⑤荷物をフォークに固定してください。

⚠危険

荷物を適切な状態で設置しなかった場合、製品が転倒したり、荷物が落下したりして、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告

フォーク上で荷物がずれないように、昇降前に荷物が固定されていることを確認してください。



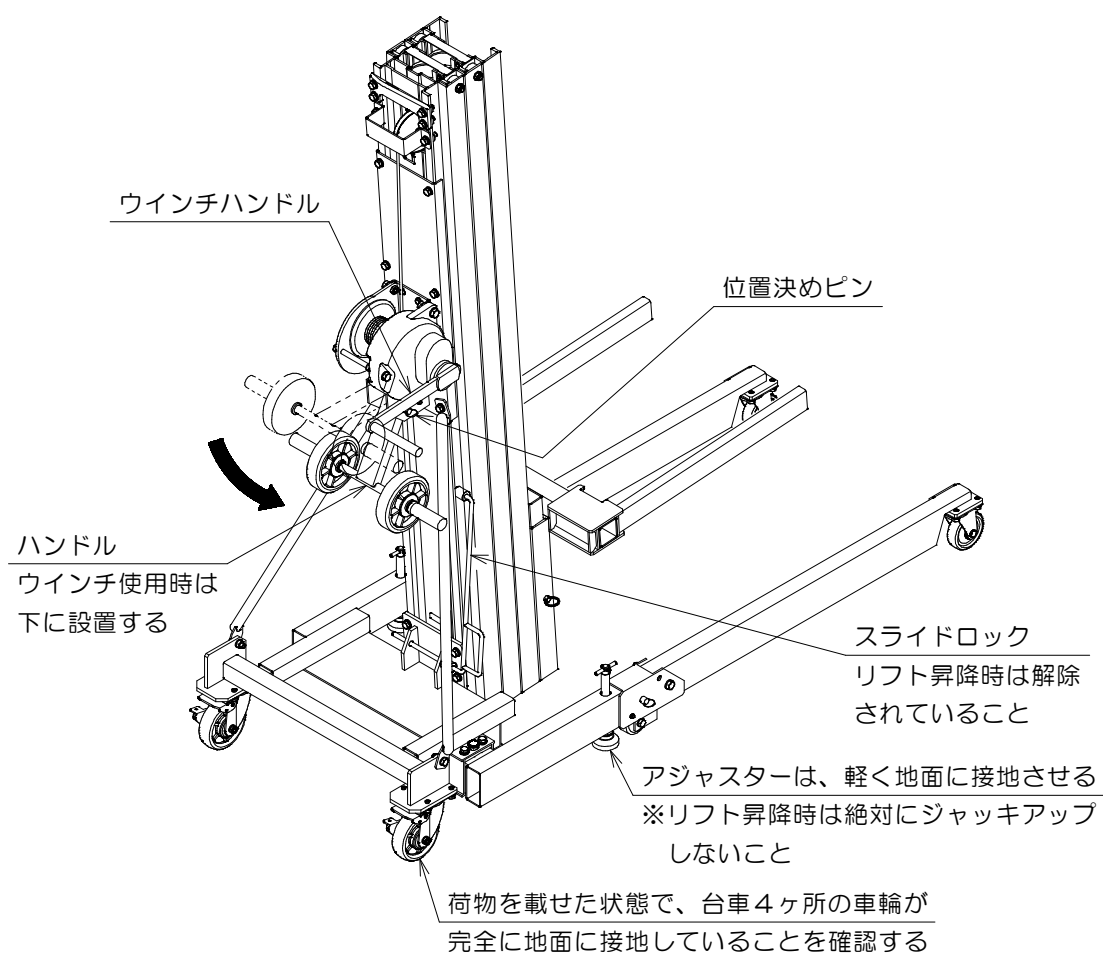
可搬式荷物用昇降台の使いかた

3. リフトの昇降前に

- ①フォークに荷物を載せた後、台車のアジャスターを軽く地面に接地させてください。
- ②ハンドルの位置決めピンを抜き、ハンドルを下に設置して位置決めピンを挿入すると、ウインチハンドルが巻ける状態となります。

⚠警告

- ・台車 4 ヶ所の車輪すべてが完全に地面に接地していることを確認してください。
- ・台車 4 ヶ所すべての車輪が接地しなくなるため、アジャスターで台車を極端にジャッキアップしないでください。
- ・スライドロックが解除されていることを確認してからリフトの昇降を行ってください。



リフト昇降前の設置状態

4. リフトの昇降

リフトの上昇

ウインチハンドルを巻き上げ方向（右回り）に回転させるとリフトは上昇します。

※ウインチにはブレーキ機構がついていますので、任意高さで保持します。

※荷物の重量が最大使用質量に近い場合や荷物の載せ方で、支柱が順序通りに上がらないことがあります。

このような場合、荷物の重量を軽くすれば現象は起こらなくなります。

支柱が順序通りに上がらない状態でも問題無く使用を継続することもできますが、荷物を取り除いたとき、フォークの位置は保持されたまま急に支柱のみが下に移動する事がありますのでご注意ください。

リフトの下降

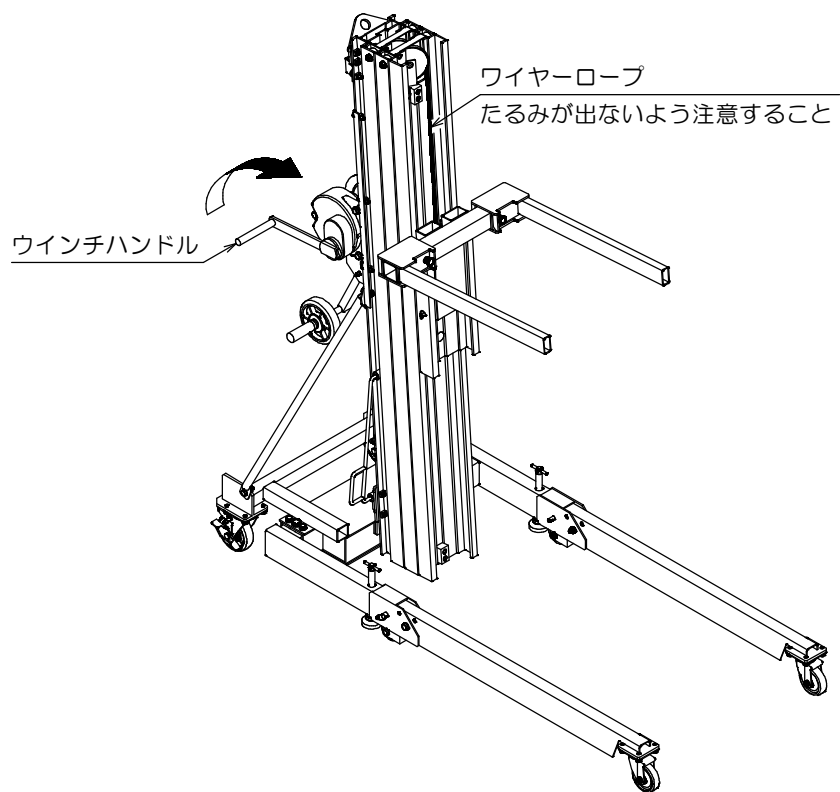
ウインチハンドルを巻き下げ方向（左回り）に回転させるとリフトは下降します。

※ウインチは下降限以上に巻き戻さないでください。ワイヤーが外れたり乱巻の原因になります。

⚠警告

- リフトを上昇させたまま、製品を移動させないでください。
- 最大使用質量以内の荷物をフォークの中心に載せて使用してください。
フォークの中心に荷物が載っていない場合は、支柱が傾くなどスムーズに上昇しないため、荷物を正しい位置に載せて使用してください。
- 上昇操作時は、頭上や周囲に障害物等がないことを確認してください。
- 下降操作時は、フォークの下に人や障害物等がないことを確認してください。
また、下降している製品には近づかないでください。
- 破損や製品の転倒、荷物の落下を引き起こす原因になりますので、急激なウインチハンドルの操作はしないでください。

可搬式荷物用昇降台の使いかた



運搬と保管のしかた

製品を運搬・保管する場合は必ず、次のことを守った状態で行ってください。
車輛などで製品を運搬する場合は、荷台にしっかり固定し、製品が雨等に濡れないようカバーをかけるなど処置をしてください。

1. 移動のしかた

- ①支柱を最下部まで下降してください。
- ②台車のアジャスターが上がっていることを確認してください。
- ③ブレーキ付自在固定切替え車輪（2箇所）のロックを解除し、移動用ハンドルを持って移動させてください。

⚠注意

移動用ハンドル以外を持って移動させると、可動部で手をはさんだり、製品が破損する恐れがあります。

2. クレーンで製品を積込むには

- ①フォークを収納状態にして、フォーク幅固定ピンでロックしてください。
- ②スライドロックで支柱をロックしてください。
- ③スライド脚を最小幅、台車アームを収納状態にしてロックピンを挿入してください。
- ④支柱の後部側先端に取り付けてある吊り具を使用して積込んでください。

※吊り上げの際、製品が傾くため周囲の状況を確認した後、慎重に吊り上げてください。

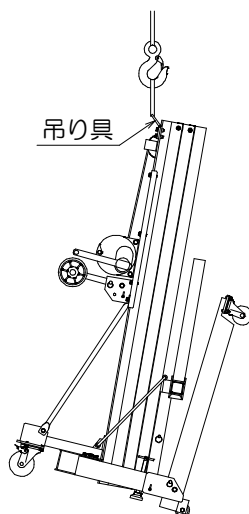
また、製品を降ろす際も同様に、慎重に操作してください。

⚠危険

製品質量（6ページ参照）に対して、十分な強度を有する吊上げ材を使用してください。

⚠注意

本製品の支柱はアルミ製です。急激に吊り上げたり、降ろしたりすると変形や破損の原因となります。



運搬と保管のしかた

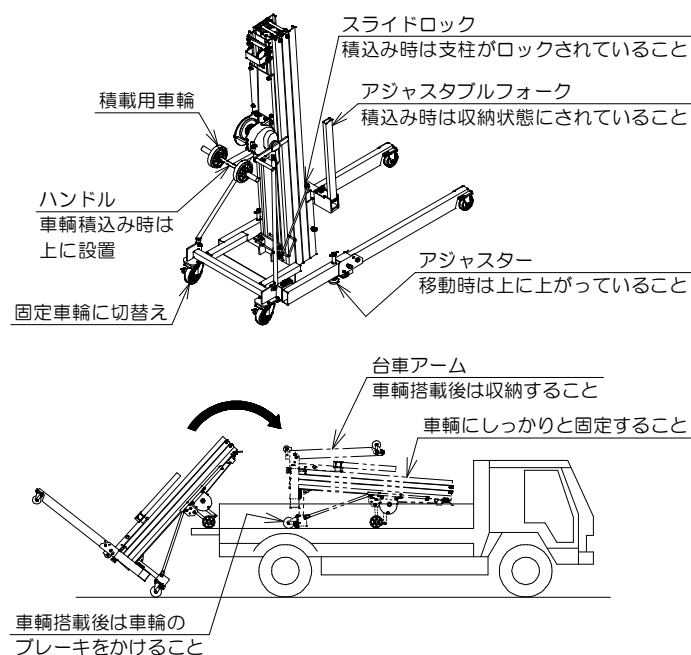
3. 車輻へ積込むには

- ①アジャスタブルフォークを収納状態にし、スライドロックで支柱をロックし、リフトが上昇できないことを確認してください。
※支柱を最下部まで下降させないと、スライドロックがロックできません。
- ②ハンドルの位置決めピンを抜き、ハンドルを上を設置して位置決めピンを挿入してください。
- ③ブレーキ付自在固定切替え車輪を、固定車輪に切替えてください。(2箇所)
- ④ハンドルに付いている積載用車輪を車輻荷台へ接地させ、製品を持ち上げて積込んでください。
- ⑤積み後は、ブレーキ付自在固定切替え車輪のブレーキをかけ、台車アームを収納し、確実に車輻に固定してください。

⚠注意

積みは、必ず2人以上で行ってください。

また、製品が不安定にならないよう、注意して積みを行ってください。



4. 保管のしかた

- ・保管時は製品の汚れ（泥、セメント、石灰、海水等）を拭きとり、雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所に保管してください。
- ・保管時は不意の移動を防ぐため、必ずブレーキ付自在固定切替え車輪（2箇所）のブレーキをかけ、平らで水平な場所に保管してください。

⚠注意

農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。

「故障かな？」と思ったら（不調診断）

<現象>・製品がスムーズに移動できない。

点検する箇所	処置のしかた
ブレーキ付自在固定切替え車輪（2箇所）のブレーキがロックされていないか。	車輪のブレーキを解除してください。
ブレーキ付自在固定切替え車輪（2箇所）が固定車輪でロックされていないか。	固定車輪のロックを解除してください。
スライド脚が左右で違う幅になっていないか。	スライド脚左右の幅を合せてください。
台車のアジャスターが地面に接地していないか。	アジャスターを上を上げてください。
車輪にゴミ等の異物混入はないか。	異物を取り除き、潤滑油を注油してください。

<現象>・台車のアジャスターがスムーズに回らない。

点検する箇所	処置のしかた
アジャスターのネジ部がさび付いていたり、ジャッキアップ時に異音がしないか。	アジャスターのネジ部に注油（グリスアップ）してください。

<現象>・ウインチハンドルを巻き上げても、リフトが上昇しない。

点検する箇所	処置のしかた
スライドロックがロックされていないか。	スライドロックを解除する。
回転方向がまちがっていないか。	正しい方向（右回り）に巻き上げる。巻き上げ時はウインチから「カチカチ」と音がします。

<現象>・ウインチハンドルを巻き下げても、リフトが下降しない。

点検する箇所	処置のしかた
回転方向がまちがっていないか。	正しい方向（左回り）に巻き下げる。

「故障かな？」と思ったら（不調診断）

＜現象＞・リフトがスムーズに上昇しない。

点検する箇所	処置のしかた
最大使用質量を超えて使用していないか。	最大使用質量以下で使用してください。
フォークの中心に荷物が設置されているか。	フォークの中心に荷物を設置してください。
リフトが最大高さまで上昇していないか。	最大高さまで上昇すると、リフトはそれ以上上昇できません。

＜現象＞・支柱が順序通りに上昇しない。

点検する箇所	処置のしかた
最大使用質量に近い重量の荷物を載せていないか。	荷物の重量が最大使用質量に近い場合や荷物の載せ方で、支柱が順序通りに上がらないことがあります。 このような場合、荷物の重量を軽くすれば現象は起こらなくなります。 支柱が順序通りに上がらない状態でも問題無く使用を継続することもできますが、荷物を取り除いたとき、フォークの位置は保持されたまま急に支柱のみが下に移動する事がありますのでご注意ください。
荷物が適切な位置に設置されているか。	

＜現象＞・スライド脚、アジャスタブルフォークがガタつく。

点検する箇所	処置のしかた
幅調整用ピンが正しく固定されているか。	ピンを正しく固定してください。

始業前点検表

		型式（機種）	HLA-	W
		シリアルナンバー		
点検項目	点検内容	結果	結果	結果
外観 (目視・操作)	各部に、曲がり・ねじれ・へこみ・亀裂がないか			
	各部ボルトに緩みはないか			
	車輪のブレーキが確実にロックできるか 自在固定切替え車輪の切替えはできるか			
	スライド脚、フォーク部の幅調整はスムーズにできるか、また、確実にロックできるか			
	台車のアジャスターがスムーズに操作できるか			
	各ラベルが読み取れるか			
昇降動作 (目視・操作)	ウインチ巻き上げ時にカチカチ音がするか (メカニカルブレーキ摩耗の有無)			
	昇降動作時、不安定な動作はないか			
	昇降動作時、各部からいちじるしい異音がないか			
ワイヤーロープ (目視)	素線切れはないか			
	キンクしていないか			
	その他、著しい変形、型崩れ、腐食がないか			
駆動部 (目視)	ウインチワイヤーにたるみや腐食やほつれ・その他変形等が発生してないか			
	各摺動部・回転部の注油状態は適正か ※各摺動部・回転部は定期的に注油してください			

保守点検のご案内

本製品の保証期間は、納入日から 1 年間です。

※お客様の取扱いの誤りによる故障・破損に関しては保証対象外となります。

製品の性能を保つため、保証期間が過ぎましたら保守点検（有償）を推奨しております。
詳しくは弊社までご相談ください。

MEMO

ピカ コーポレイション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く9:00~17:00まで)

■ホームページアドレス <https://www.pica-corp.jp>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

P19. 10
738130201564